

「学校配置の見直しについて」説明会 質疑応答要旨（生野小学校）

実施日時：平成 26 年 6 月 24 日（火）18：30～20：10

参加者数：128 人

出席者：（生野区役所）清野区長、竹沢副区長、北邑教育振興担当課長
（教育委員会事務局）川口学校適正配置担当課長
（学校）朝野生野小学校長、北野生野中学校長

統廃合の必要性やめざす方向性に関する質問・意見

- 1 本当に統廃合しなければならないのか。生野区に住民が増えるような街づくりを進めてもらって住民を増やし、全ての学校を残す方法はないのか。

小学校は防災の拠点となっており、統廃合された場合はどうなるのか。また、ソフトボールやバレーボールの活動をされ、学校にも協力してくださっている方の統廃合後の活動はどうなるのか。

（区長）

生野区の今の土地利用の状況等を考えた場合、今後、大きなマンションがどんどん立ち続けて、子どもの数が以前のピーク時に戻るということはあり得ないと考えています。

ただ、子どもの人数だけ考えて学校を作るわけではなく、安定的に 1 学年 2 学級を維持できる 1 学年 50 人程度の規模になればよいと考えています。

西側エリアの小学校は、設立されてから最低でも 70～80 年たっており、その学校の文化ができています。また、統廃合を経験された校長先生からは、新しい学校になって入ってきた児童が卒業するころにやっと新しい学校の文化、校風が確立されるという意見も聞いていますので、なるべく早くに具体案を提示させていただき、その上で子どもや地域が新しい環境に円滑に移行していただけるよう統合の準備のために時間を十分に確保したいと考えています。

体育施設開放事業も非常にたくさんの方に使っていただいていますし、避難場所をどうするのかという課題もあります。今まで学校の跡地は売却が前提でしたが、今年の 3 月に教育委員会が出した指針の中では、跡地利用は地域と十分相談して決めていくこととなったので、みなさんと考えていきたいと思います。

学校だけではなく区内の公の施設全般のあり方や配置をどうしていくのかということも考えながら話を進めたいと思っています。

- 2 統廃合ありきで、話が進んでいるようで非常に残念である。小学校は、地域住民のコミュニティの拠点となっている。私は、生野校区の再開発が進めば児童の数が増えると思っているので、区役所でも児童が増えるための施策を具体的に提案していただきたい。

（区長）

B ブロックの 6 つの小学校をそのまま残すのは非常に難しいので、少なくなった学校をなくすという考え方ではなく、将来生野区に暮らす子ども達の教育環境を考えた時に、学校の規模はどれぐらいがいいのかを一緒に考えていただきたいと思います。

小学校は確かに地域活動の拠点ですが、第一には教育の場であるというのが基本的な認識です。学校のあり方を考えるときには、子ども達を中心に考えていきたいと思います。

今の生活スタイルを考えた時に、昔のように1つの家に2世帯、3世帯が住むというのは考えられない時代ですので、急速に若年人口が増えるということは考えにくいと思います。

まちづくりはまちづくりで話をさせていただいて、地域のあり方は地域のあり方で考えていきたいと思います。

- 3 防災の観点等から学校は廃止することはできないと思うが、通学距離の問題もある中で、Bブロックでどれくらい減らしていくのか。

(区長)

子どもの教育環境を考えたときに学校を減らさざるを得ないとは思いますが、先に減らす学校の数を決めているわけではありません。

小さいお子さんにとっては通学距離の問題がありますので、家の玄関から400メートル以上離れた学校に通っており、今の学校よりも近い場所に別の学校がある場合については、申し出ていただければより近い学校に行っていただける指定校変更が来年度からできるようになります。また、他都市では市バスを走らせている地域もあると聞いています。

新しい学校の位置は、子どもたちの負担を減らし地域のみなさんの見守りを続けていただけるよう、今学校がある場所だけでなく公有地の活用も含めて検討していきたいと思います。

(副区長)

指定校変更の制度は、来年度新しく入学される方のみが適用される制度になっており、今の時点ですでに小学校へ通っておられる方は対象外となっています。

統廃合の進め方に関する質問・意見

- 4 区役所、教育委員会は何年度を目処に統合を考えているのか。

(区長)

最短の場合のモデルスケジュールとして平成30年から新しい学校配置にすることを考えています。

- 5 子どもたちのことを一番に考えていただいて進めていってほしい。

- 6 違う学校の児童同士が交流する取組を今から実施してはどうか？例えば、小学校や中学校対抗の運動会や、地域のボランティア・老人ホームの方などを巻き込んだ交流事業をやれば、子どもたちの育成につながるのではないか。

(区長)

異地域では毎年スポーツ大会を実施し、交流をしていると聞いているので、そういう取組は可能だと思います。

また、違う学校の子どもたちが一つのクラブで活動している事例などもあるので、校長先生の理解も含めた各方面での合意や調整が必要ですが、交流することは不可能ではないと思います。

7 意見交換会は今日1回限りなのか。

(区長)

ブロックごとに検討をしてくださいという方法にしたので、ブロック意見交換会の前に各校下で行っているのが今日の説明会です。もう1回このような機会を作ってほしいという要望があれば実施します。

8 学校統合計画案の決定は今日の意見を検討したうえで決定するのか。

(区長)

ブロック意見校下案会でのご意見等を踏まえながら、できる限り早い段階で案は出していきたいと思えます。具体的な案はもう一度みなさんと議論をさせていただきます。

9 子どものことを考えれば統廃合もしようがないと思っているが、統廃合計画案を決定した場合に保護者が選べるように案を3～4つ出してほしい。

統廃合後のあり方に関する質問・意見

なし

その他の質問・意見

10 学校選択制について説明していただきたい。

(区長)

学校選択制について、当区では今のところ小学校での導入は見送っていますが、中学校については、東側エリア5中学校で来年度の新入学生から実施します。西側エリアでは、通学距離が小学校の正門から直線距離で400メートル以上ある場合は別の学校に変更できる制度や、進学する中学校にやりたいクラブが無い場合に学校を変更できるようになりますが、受け入れられる人数も限られるため、希望に添えない場合もあります。

西側エリアについては、統廃合の考え方がまとまり次第、選択制を導入できるのではないかと考えています。

11 今生野小学校区は開発途上の地域であり、大勢の人に住んでもらい、地域に誇れるみんなが通いたい学校を作っていきたいと思っている。

12 この地域をいろいろな方に住んでもらえるような魅力ある街にしていくための努力をしているので、この地域が魅力ある街になるようにいろいろな角度から区役所も応援していただきたい。